

第2回佐賀県被災地支援対策本部会議 (令和8年熊本地震)

●佐賀県からの支援状況

- ・7月28日～ 熊本県ヘリエゾン2名派遣
→ 熊本県災害対策本部(熊本県庁)にて支援業務
- ・29日～ 氷川町ヘリエゾン2名派遣
→ 氷川町役場にて支援業務
- ・29日～ 避難所運営4名派遣
→ 氷川町公民館で運営業務
※31日～佐賀市、唐津市職員も
- ・30日 物資等支援
トイレカー1台、避難所トイレ資機材10個(4,200回分)、
通信確保機材(スターリンク)2台
- ・31日～ 保健師等派遣(氷川町)
→ 保健師2名、栄養士1名、業務調整員1名
※ 今後、県・市町職員で構成予定

●佐賀県内の災害支援CSOからの支援状況

以下の災害支援CSOが29日に熊本県到着、支援開始
スポットクーラー、トイレ、熱中症対策キットを被災地へ

←佐賀県は氷川町の対口支援を行うため、CSOも氷川町優先の対応を依頼

【誘致CSO】

シビックフォース、ピースボード災害支援センター、日本レスキュー協会、
ピースウィンズジャパン、ジャパンハート、グッドネーバーズジャパン、
日本カーシェアリング協会、難民を助ける会

【県内CSO】

SPF、おもやい、Public Gate 合同会社、パブリックゲート、佐賀青年会議所、唐津青年会議所

●市町からの支援

- ・佐賀市、唐津市、佐賀西部水道企業団：

日本水道協会九州地方支部(福岡市)の要請により、給水車派遣

- ・伊万里市：災害時相互応援協定により菊池市(2名)、嘉島町(2名)派遣
- ・みやき町：トイレカー2台、トイレトレーラー1台を氷川町へ派遣
- ・神埼市：シャワーテントを氷川町へ派遣